

学校が地域のふれあいの場へ 「五代っ子フェスタ」の開催

○今年で7回目を迎えた「五代っ子フェスタ」。第1回目は、地域からの提案で始まり、回数を重ねるごとに組織化され今日の開催に至っています。今年も「地域の宝は子どもたち」とのテーマのもと、地域協議会主催のフェスタが始まりました。

○会場がフェスタ開会で活気立つ中、オープニングを飾ったのは、6年生有志による「よさこい」でした。演技が始まると、場の空気が一変し、6年生の勢いに会場が魅了されました。

○五代小の児童たちによる発表が終わると、次は地域で活動している団体等の発表です。団体との調整は、コーディネーターが行います。調整と同時進行で開催への準備も行い、当日は主催者として運営と、忙しさを感じながらも、地域に知り合いが増えたり、よりスムーズな運営方法を考え出したりと、やりがいも感じながら活動しています。また、発表メンバーの中に児童の姿もあり、地域とつながりのある団体の選出など工夫しています。

○五代っ子フェスタへ参加することで、児童たちは、テーマの「地域の宝は子どもたち」を感じながら、自分たちを育ててくれる「地域も宝である」と感じられると思います。



平成最後の五代っ子フェスタ。司会進行は「地域協議会会長」。



オープニングを飾った、6年生有志による「よさこい」。



「情熱」を込めた演奏で、フェスタに「花」を添えた、先生方の大合奏。



今年からフェスタのチラシがリニューアル。「地域のみんなで、和気あいあい集える場所」をコンセプトに作成されました。作成にかかる費用等は、会長も所属する「お父さんクラブ」が地域行事に参加して得た利益を地域に還元したいとの思いから実現しました。



「お父さんクラブ」が活動するときに着用するおそろいのシャツには、地域と子どもたちへの素敵なおメッセージが込められています。

【背中のおすすめのデザインと同じポーズをしている、特別参加の南図書館の「みなみちゃん」】

【学校の声】

本校の学区には、アフリカダンスやカンフーなど様々な活動が盛んに行われており、五代っ子フェスタはそうした方々の活動を知るよい機会となっています。また、本校は、スポーツ少年団の活動が盛んで、そうした少年団の活動を紹介する場ともなっています。

地域コーディネーターを中心に準備を進め、地域協議会やPTAの方々のご協力をいただき、子どもたちの心に残る楽しいフェスタができました。

【地域協議会の声】

地域協議会というところを、子どもだけでなく、その子の保護者や祖父母、地域の方々など、みんなで和気あいあい集えるところにしたいと考えています。

また、他の小学校との連携や「お父さんクラブ」などを活用しながら、他の地域との連携やつながりを今後も大切にして、地域が元気になるように活動をしていきたいと考えています。

【いいね！】

子どもたちのために、家庭（保護者）、学校（先生）、地域（地域協議会）が一体となり、学校行事である「五代っ子フェスタ」を企画・運営することにより、子どもたちは、自分たちが学校を含めた地域の中で育てられていると実感できる貴重な体験を提供している好事例である。

